

寺山修司演劇祭

寺山修司没後35年を記念し、公募も含め6作品を上演します。東北から生まれた優れた劇作家・寺山修司と同じ東北の地で追悼するとともに、寺山作品の再認識・再発見の機会をつくる演劇祭です。

寺山修司 朗読ジュリエット・ポエト

「赤糸で縫いとじられた物語」

作=寺山修司 演出=北のやまねこ
出演=二宮隆・北のやまねこ

日時 6月2日(土) 14:00~ / 19:00~
6月3日(日) 13:00~ (30分前開場)
入場料 前売・当日 500円

寺山修司演劇祭実行委員会プロデュース公演

「この世のことならず(『十三の砂山』より)」

作=寺山修司 脚色・演出=坂田裕一

日時 6月9日(土) 14:00~ / 19:00~
6月10日(日) 14:00~ (30分前開場)
入場料 一般 前売 1,500円 / 当日 1,800円
学生 前売 1,200円 / 当日 1,500円

劇団しばいぬ Re: 寺山 theater. act1

「アダムとイヴ、私の犯罪学」

作=寺山修司 演出=夏坂俊也

日時 6月16日(土) 14:00~ / 19:00~
6月17日(日) 14:00~ (30分前開場)
入場料 一般 前売 1,200円 / 当日 1,500円
学生 前売 800円 / 当日 1,000円

5月の公演

5月4日、5日 劇団赤い風第79回公演 / 劇団赤い風結成40周年記念公演「疫病流行記」
5月12日、13日 畠山泉 一人芝居「新宿お七〜ロング・グッドバイ〜」
おきあんご・畠山泉 対話劇「天井桟敷 劇団総会」
5月26日、27日 劇団ちりぢり 第3回公演「血は立ったまま眠っていない」

会場：いわてアートサポートセンター風のスタジオ

通しチケット・・・「寺山修司演劇祭」全参加公演を何度でも観劇できるチケット
一般 5,000円 大学生以下 4,000円
(いわてアートサポートセンター風のスタジオのみ取扱い)

主催・寺山修司演劇祭実行委員会

共催・特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

後援・岩手県演劇協会



鉈屋町界隈イベント情報

第18回盛岡de手づくり市

てどらんご

2018年5月12日(土)・13日(日)
10:30 - 16:00 盛岡市鉈屋町界隈にて

町家・お寺・湧き水が並ぶ風情溢れる
街並みで、大人も子どもも遊びましょう♪

「てどらんご」=盛岡弁の“てんど”(手業)+“らんご”(「〇〇ごっこ」と同様の遊びの言葉の接尾語)からなる造語。「手業で作ったものを持ち寄って遊ぶ」を意味します。まちに集い、まちを巡り、遊び、新しい出会い紡ぎます♪

主催：もりおかワカものプロジェクト(通称：もわっぷ)
問合せ：morioka_wakamono_project@yahoo.co.jp



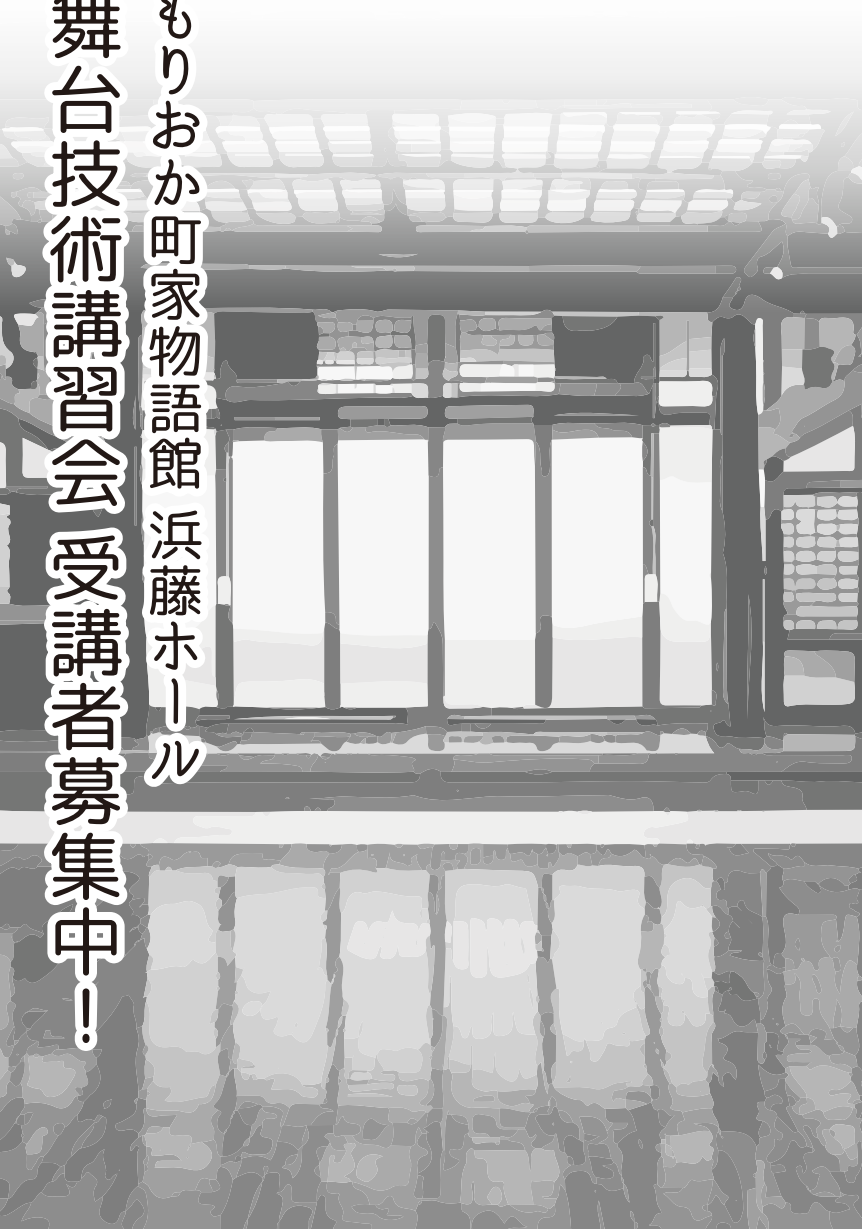
発行者	特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
【本部】	〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 南大通ビル3階 TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146 E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp
【肴町事務所・風のスタジオ】	〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階 TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021 E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp 〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00~18:30 木・土 10:00~17:00 〈施設利用可能時間〉9:30~21:30
【もりおか町家物語館】	〒020-0827 岩手県盛岡市鉈屋町10-8 TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913 E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp 〈開館時間〉9:00~19:00(最終入館 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで 〈休館日〉毎月第4火曜(休日の場合はその翌日) - 年末年始 12/29 ~ 1/3 〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。
◎プレイガイドをご利用下さい!	肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりしています。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



もりおか町家・風の通信

5月号

もりおか町家物語館 浜藤ホール
舞台技術講習会 受講者募集中!





舞台技術講習会

舞台芸術に興味のある方や今後浜藤ホールをイベントでご利用の方へ音響・照明・舞台の技術講習を行います。未経験の方もお気軽にご参加ください!

日時 5月17日(木) 19:00～21:00
5月19日(土) 14:00～16:00
会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール
対象 高校生以上で両日参加可能な方(定員10名)
受講料 500円

1日目は、浜藤ホールの基本設備(音響・照明・舞台)について学びます。2日目は、実際に機材に触れながらイベントの仕込み～撤収を体験します。

申込方法: 電話またはメールにて、もりおか町家物語館まで、氏名・ご連絡先・年齢をお知らせください。(メールでのお申込の場合は、件名に「舞台技術講習」と明記してください。)

盛岡芸妓お座敷体験講座

今年で四年目の本講座は、盛岡芸妓に気軽に親しむことができるかと好評です。盛岡芸妓の芸を間近で鑑賞し、親しみやすい盛岡弁が飛び交う、お座敷遊びを体験してみませんか?

◆もりおか町家物語館で開催【5/7(月)9時受付開始!】

- ① 平成30年5月26日(土) 12:00-13:30
もりおか町家物語館・母屋(お座敷)、料亭駒龍のお弁当付
- ② 平成30年6月23日(土) 12:00-13:30
もりおか町家物語館・浜藤ホール(椅子席)、料亭喜の字のお弁当付
- ③ 平成30年11月24日(土) 12:00-13:30
もりおか町家物語館・浜藤ホール(椅子席)、料亭京極のお弁当付

◆料亭駒龍で開催【7/1(日)10時前売りチケット発売】

- ④ 平成30年8月25日(土) 12:30-15:00
料亭駒龍、昼懐石付】*盛岡芸妓全員出演予定*

定員: ①20名、②・③30名、④40名

参加費: ①～③5,400円、④7,560円

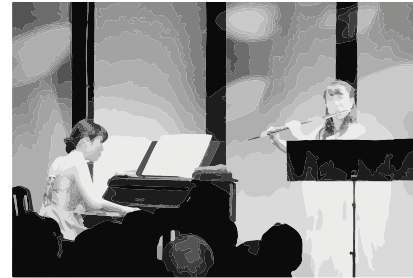
申込方法: ①～③下記まで、参加希望回、お名前、ご住所、電話番号、性別、メールアドレスをお知らせのうえ申込みください。定員に達し次第に締め切ります。④おでつて又はもりおか町家物語館にてチケットをご購入ください。

申込み・問合せ (公財)盛岡観光コンベンション協会 TEL 019-621-8800

事業報告

雛祭りクラシックコンサート

今回で14回目を迎えた「盛岡町家旧暦の雛祭り」は4月14日(土)・15日(日)に無事終了いたしました。15日(日)はあいにくの雨でしたが、当館浜藤ホールにて開催いたしました「雛祭りクラシックコンサート」にはお陰様で小学生から90代の方まで幅広い年代の約80人のお客様にお越しいただきました。ステージは、フルート奏者・村野井友菜さん、ピアノ奏者・井上彩花さんのお二人による演奏で、メンデルスゾーンの「春」、「春の日本の歌メドレー」等、アンコール曲も含め7作品の春をテーマにした曲を選曲・ご披露頂きました。更に演奏曲の解説等お二人のトークも交えた華やかなコンサートとなりました。ご来場誠にありがとうございました。来年は、お天気にも恵まれます様に…♪



もりおかお酒の学校 ビール編 2018

盛岡を代表するお酒のひとつ『ペアレンビール』を味わい、知識を深める講座です。今年度は、6月と秋頃の計2回開催予定。第1回目は、ペアレンの様々なビールを飲みながら、日ごろのビールへの疑問、おいしい飲み方などを実際に試しながら学びます。

第1回 生ビールって本当においしいの? おいしいビールの注ぎ方は? 泡は必要?

日時 6月6日(水) 19:00～20:30 *開場・受付は20分前から
講師 畠田洋一氏 (株式会社ペアレン醸造所専務取締役)
会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール
定員 24名(要申込み) 受講料 3,000円 *3種のビール、パンつき

申込方法: 電話またはメールにて、もりおか町家物語館まで、氏名・ご連絡先・年齢をお知らせください。(メールでのお申込の際は、件名に「ビール編6月申込み」と明記してください。)



カフェ DOMA

「もじと文字」
清水ちはる 清水由美子二人展
開催中～5月27日(日)まで

営業 11:00～16:00

定休 毎週火・水曜日

*営業時間外も、施設開館中は見学可能です。
*臨時休業の場合もございます。営業時間はホームページ等でご確認ください。

お休み・5月5日(土)終日

リレーコラム No.25 寺山修司演劇祭

つい一週間前、ある日の黄昏時。肴町・風のスタジオの事務所でひとり、「寺山修司演劇祭」のチラシを30枚ずつ封筒に入れておくと、「ラインナップを教える」という津軽訃りの一言が聞こえてポンと肩を叩かれた。誰だ、驚いて振り向くとそこに立っていたのは何を隠そう、寺山修司ご本人であった。

「俺の演劇祭をここでやるらしいね。どうして俺で2か月もやるの」

夢か現かわからぬ状況に僕はクラクラしながらも、このまたとないチャンスを逃してはいけないと思った。

「あなたが死んで35年経ったからですよ。5年ごとの節目に開催していて今回は3回目です。この街には今もあなたの作品をこよなく愛する人がたくさんいます。僕もそのうちの一人です」

寺山は照れ臭そうに笑ってふと何かを思い出したような顔をした。

「盛岡か…昆は元気か」

「元気です。いつもここに来てあなたとの思い出を聞かせてくれます。今回の演劇祭でも実行委員長を務めていますよ」

寺山の言う「昆」とは、かつて寺山が主宰した劇団「天井棧敷」の元団員で現在劇作家のおきあんど氏のことである。

「そうか…それはよかった。それじゃあ早くその演劇祭のラインナップを教えてください」

「はい! トップバッターは結成40周年の劇団赤い風、盛岡で最もあなたへの愛があふれている劇団の公演があなたの命日から始まります。そして翌週は、畠山泉の一人芝居とあなたの愛弟子・おきあんどによる天井棧敷劇団総会の再現です。記念館館長の佐々木英明さんもご登場です! 次は劇団ちりぢり5年ぶりの公演、恥づかしながらこのちりぢり、実は僕が作・演出・出演している舞台なんですよ! そして翌週、札幌と横浜からははるばる参加の朗読劇です。あなたのメルヘンな短編をしっかりと盛岡の両耳に届けてくれます。次は「この世のことならず」、あなたの未発表テレビ脚本を坂田裕一が演劇用に大胆脚色、初の舞台化です。そしてラストは劇団しばいぬ、記念館に足しげく通うほどあなたを愛する代表夏坂俊也が生み出す舞台は必見です。以上、めくるめく全6公演のご紹介でした!」

僕がたっぷり話し終えると寺山は満足そうな表情を浮かべ、くるっと踵を返したかと思う一言。

「話の長いやつがつくる芝居はおもしろくないんだよね」

遠ざかる寺山の背中を眺めつけると、シュッ、そこにいたはずの寺山は消え、永卵ビル3階の窓からは青い煙が肴町の街へと逃げていった…。

特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
風のスタジオ運営ディレクター 藤原 瑞基